

## 授業科目 臨床医学総論 I

【担当教員名】 追手 巍		対象学年	2	対象学科	臨床
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解		思考・判断		態度	
◎		○		○	
【概要・一般目標：G10】 疾患の成り立ち、各種疾患の病態、特徴について基礎的知識を習得する。					
【学習目標・行動目標：SBO】 理想的な臨床検査技師、臨床工学士になるためには、臨床検査業務、医療機器使用業務を実行するだけでなく、それらの意義を十分理解する必要がある。そのために上述の概要に記した修学が必須である。具体的には、 1. 各種疾患の場となる各臓器・器官の解剖学的特徴を考慮して疾患の成り立ちを説明する。 2. 各種疾患の場となる各臓器・器官の機能的特徴を考慮して疾患の成り立ちを説明する。					
回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員		
1	概論（病気の原因、症状、その他）	1	講義、担当：追手 巍		
2	心臓・循環器疾患の概要	1,2	講義、担当：追手 巍		
3	呼吸器疾患の概要	1,2	講義、担当：追手 巍		
4	消化器疾患の概要	1,2	講義、担当：追手 巍		
5	肝・胆道・膵疾患の概要	1,2	講義、担当：追手 巍		
6	感染症の概要	1	講義、担当：追手 巍		
7	AIDS	1	講義、担当：追手 巍		
8	M蛋白血症	1	講義、担当：追手 巍		
9	血液疾患の概要	1,2	講義、担当：追手 巍		
10	内分泌疾患の概要	1,2	講義、担当：追手 巍		
11	腎・泌尿器疾患の概要	1,2	講義、担当：追手 巍		
12	女性生殖器疾患の概要	1	講義、担当：追手 巍		
13	脳神経疾患の概要	1	講義、担当：追手 巍		
14	運動器疾患の概要	1	講義、担当：追手 巍		
15	アレルギー性疾患、膠原病、免疫不全症	1,2	講義、担当：追手 巍		
16	代謝・栄養障害の概要	1	講義、担当：追手 巍		
17	感覚器疾患の概要	1	講義、担当：追手 巍		
18	中毒、染色体・遺伝子異常症	1,2	講義、担当：追手 巍		
19	皮膚および胸壁の疾患	1	講義、担当：追手 巍		
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		臨床医学総論・臨床検査医学総論	奈良 信雄	医歯薬出版	2010・5,400円＋税
参考書		からだの構造と機能	A. シェフラー、S. シュミット	西村書店	1997・4,800円＋税
		はじめの一步のイラスト生理学	照井直人	羊土社	2012・3,500円
		健康と病気のしくみがわかる解剖生理学	島田達生、小林邦彦、渡辺 皓	西村書店	2000・5,500円
その他の資料					
【評価方法】 定期試験（100％）		【履修上の留意点】 教科書を用いて、そこに記載されている重要な項目、及び記載されていない重要な追加項目（授業時に筆記させるか追加資料）の知識を正確に理解する。 かつ基本的な用語を指示し、それらを確実に記録する。 参考書は本教科以外にも解剖、生理学の参考書としても役に立つ内容が豊富なので、購入することを勧める。ただし、図書館に配備してあるので利用して下さい。			